

令和6年度 とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	台東区立石浜橋場こども園
所在地	台東区橋場1-35-1

1. 活動のテーマ

<テーマ>

身近な環境に関わり探究する幼児(体を動かす環境)

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子供たちの興味関心、園の特色など)

- ・自ら体を動かして遊ぼうとする意欲をもち、自分の体の使い方を知り運動の幅を広げたり、運動の環境を工夫し構成したり、新しいことに繰り返し挑戦したりする楽しさを味わってほしいと考えた。

2. 活動スケジュール

9月 10月 2月 講師を招聘したコーディネーショントレーニングや縄を使った遊びの指導
通年 園庭の遊具、用具などを使って、様々に体を動かす環境を工夫して構成して遊ぶ

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- 様々な動きが体験できるように
- ・自分が選択して選べるような年齢や発達に応じた遊具を用意する。
- ・講師の先生方に教えていただいた運動遊びを継続して遊ぶことができるような環境づくりを行う。

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

- ボール遊びの指導では、様々なボールの遊び方、ボールの投げ方、受け方を知り、ボールに親しんだ。その後も自分たちで誘い合い、ボールを使った遊びを楽しんだ。
- コーディネーショントレーニングでは、発達に応じた鬼遊びや様々な動きを楽しむ中で、挑戦してできた喜びを感じる姿が見られた。
- 巧技台遊びや縄跳び、ボール遊びなど、自分たちで遊びの場を考えて設定し、身体を動かす楽しさやめあてをもって遊ぶことを楽しんでいった。

<活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

- ボール遊びの指導では、友達と声を掛け合いながら、ボールを投げ合ったりすることを楽しんだ。「もっと強く投げたい」「遠くに投げたい」など、自分なりにめあてをもって挑戦する姿も見られた。
- コーディネーショントレーニングでは、初めての体の動きが多かったが、「やってみたい」「もう一回やりたい」積極的に取り組む姿が多く見られた。身体全体を使った動きを十分に楽しみながら、体を使って遊ぶことの楽しさを十分に味わうことができた。
- 普段の遊びの中で、巧技台や鬼遊びなど、様々な運動遊びを発達に応じて楽しむ中で、できた喜びを友達や先生に伝えたり、刺激を受けて自分も頑張ろうとしたりする姿が見られた。

<活動の様子>



5. 振り返り

○講師の先生にご指導をいただくとともに、普段の生活の中で運動遊びを楽しんできた中で、一人一人の興味・関心や発達に応じた環境づくりや保育者の肯定的な言葉掛けが、自ら挑戦したり、何度も試したりして運動遊びを楽しむ子供の姿につながるということが分かった。

以上